

日刊 人吉新聞

発行所
人吉新聞社
〒868-0072人吉市西岡下町112-3
電話(0966)24-2111(代)
FAX(0966)24-2113(代)
(HP) www.hitoyoshi-sharepla.com
(E) daihyou@hitoyoshi-press.com

www.celmo.co.jp

バリアフリーの
「人にやさしい会館」です

玉泉院

年中無休24時間受付

セルモ

0120-22-4494

土曜レポート

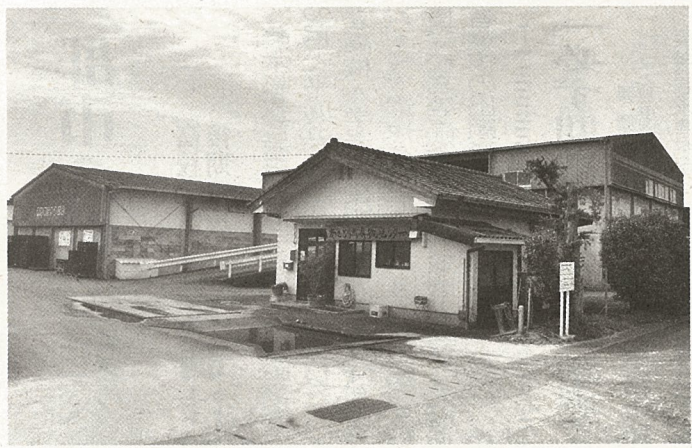
あさぎり町有機センター 生ごみの堆肥化を進める

あさぎり町内の一般家庭や事業所から出る生ごみの堆肥化を進める同町上北の「あさぎり町有機センター」。指定管理者の(株)新和コンサルタント(新原裕介社長、本社・福岡県太宰府市)が製造販売する有機肥料「アミノスイート」などの製品を先月、熊本県はリサイクル製品として初めて認証。各方面から注目を集める資源循環型の取り組みを取材した。

(尾方 賢一郎)

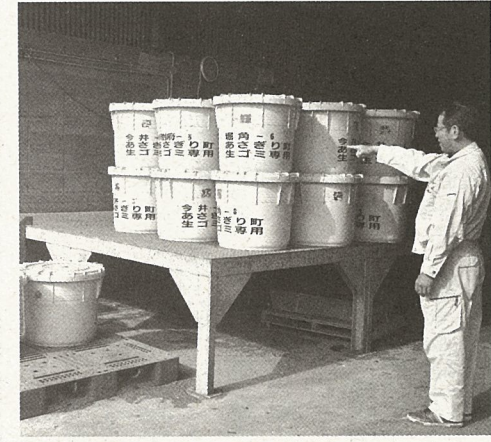
資源循環型社会の形成へ 県が「リサイクル製品」認証

●平成7年に旧上村が建設
あさぎり町の町有機センターは、旧上村が設



あさぎり町上北にある「あさぎり町有機センター」

地域畜産活性化総合対策事業、環境保全型畜産確立対策事業で平成7年に国や県の補助金を活用し「上村堆肥センター」として建設。同15年4月の町村合併後に同センターに名称を変更。同24年10月からは(株)新和コンサルタントが指定管理者となり、堆肥製造に着手。



生ごみを回収する専用のたる

堆肥製造で資源循環型社会の形成に貢献しようと、生ごみと地域の家畜ふんを混合、長期発酵させた高濃度アミノ酸含有土壌改良資材「アミノスイート」が完成した。

●町内約1700世帯から生ごみ回収。同社は、同24年11月から町の許可を受け、免田地区の5行政区約740世帯を手始めに

生ごみの収集を開始。その後、収集エリアを徐々に拡大。現在は、同町の免田地区全域と上地区の一部の14行政区(約1700世帯)のごみ収集所に約140個の生ごみ回収専用ふた付きプラスチック

約半年かけ製造集めた生ごみは手作業でビニールなどの異物を取り除いたあと、生ごみと同量の戻し堆肥(牛ふん85%、鶏ふん10%、豚ふん5%)を混合。

水分調整し一次発酵。その後、発酵槽でプロアと呼ばれる装置で空気を送り込みながら生ごみの固形物がなくなる状態まで約2カ月発酵。攪拌槽に移して巨大な機械で定期的に攪拌。商品として利用可能な完熟の状態に達し、袋詰めし、散布まで行

その後、収集エリアを徐々に拡大。現在は、同町の免田地区全域と上地区の一部の14行政区(約1700世帯)のごみ収集所に約140個の生ごみ回収専用ふた付きプラスチック

製造工程の中で特製の光合成細菌培養液を繰り返し散布することで生ごみの臭いや発酵臭、畜ふんなどのアンモニア臭はなくなり、長期発酵させた無臭の完熟堆肥が完成する。

「アミノスイート」(40L)は1袋648円(税込み)で、農家やホームセンターなどで販売。町内であれば袋詰めしないバラの状態に配達や散布まで行

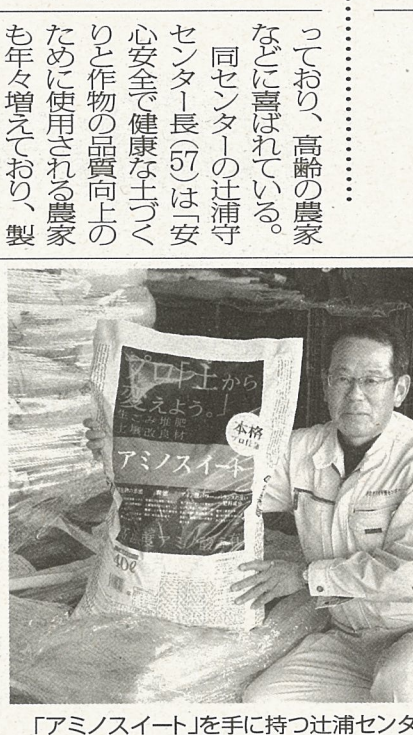
●資源の好循環に期待
熊本県は、今年度から環境負荷の少ない循環型社会の形成を目指し「熊本県リサイクル製品認証制度」を創設した。県が定めた品質、環境安全性の基準に適合した県内産リサイクル製品を認証して利用を促進。資源の循環的な利用、廃棄物の減量化ならびに県内リサイクル産業の育成を図ると、初めて県内5社の6製品を認証した。同社からは「アミノスイート」と姉妹品の

「アミノスマイル」(30L)の2製品が特殊肥料の分野で認証され、辻浦センター長は「リサイクル製品に認証され、うれしい。生ごみなどにもつながっている」という。

同町役場農林振興課は「生ごみの堆肥化は、ごみの削減だけでなく、生ごみの焼却コスト、焼却時に発生する二酸化炭素の削減、さらには土壌改良につながっている。これからも資源循環型社会の構築に大きく貢献してほしい」と期待する。

のたる(70L)を設置。地区ごとにそれぞれ週に2回、トラックで回収。一般家庭と事業所から直接搬入される生ごみを合わせることで、回収量は毎月30ト前後。昨年度は処理や再利用が難しい生ごみ約337トを回収し、町内から持ち込まれる牛や豚、鶏の畜ふんを混ぜ合わせて堆肥化した。

「アミノスイート」を手に持つ辻浦センター長



「アミノスイート」を手に持つ辻浦センター長

週間予報

24日(日)	晴
25日(月)	晴
26日(火)	晴
27日(水)	晴
28日(木)	晴
1日(金)	晴

あすの天気

東のち南の風
曇り 屋前から晴れ

日の出 6時52分
日の入り 18時10分
予想最高気温 16度
予想最低気温 5度

きのうの記録
最高気温 9.6度
最低気温 7.4度
最小湿度 82%

くすりの 安民堂

豚が感染する家畜伝染病「豚コレラ」が昨年9月、岐阜県で発生。その後、終息どころか野生のインシンの感染も確認され、近隣県に広がっている。▼都市から遠く離れているからと安心はできない。国内で26年前に発生したのは錦町。鳥インフルエンザと同じように相手は目に見えないウィルス。畜産農家は飼養衛生管理徹底に努めるしかない。▼隣国に目を向ければ、昨年8月に中国で初の「アフリカ豚コレラ」、先月は韓国で「口蹄疫」の発生と相次ぐ。当然ながら日本では、検疫強化など侵入防止の対策に力を入れているが、近年は中国、韓国からの観光客が急増。以前に比べて侵入のリスクは高まっている。▼県内でも熊本空港に消毒マットの設置、大型クルーズ船が寄港する八代港では検疫、観光団体には靴底消毒を依頼するなど警戒。ひとたび発生すれば移動制限や消毒で誘客どころではない。▼これは5年前の鳥インフルエンザで経験済み。▼ことはラグビーとハンドボールの世界大会、来年は東京五輪と訪日外国人はさらに増加が見込まれる。家畜伝染病に限らず受け入れにはさまざまな問題がつきまとう。歓迎しつつも準備を。か。

豚が感染する家畜伝染病「豚コレラ」が昨年9月、岐阜県で発生。その後、終息どころか野生のインシンの感染も確認され、近隣県に広がっている。▼都市から遠く離れているからと安心はできない。国内で26年前に発生したのは錦町。鳥インフルエンザと同じように相手は目に見えないウィルス。畜産農家は飼養衛生管理徹底に努めるしかない。▼隣国に目を向ければ、昨年8月に中国で初の「アフリカ豚コレラ」、先月は韓国で「口蹄疫」の発生と相次ぐ。当然ながら日本では、検疫強化など侵入防止の対策に力を入れているが、近年は中国、韓国からの観光客が急増。以前に比べて侵入のリスクは高まっている。▼県内でも熊本空港に消毒マットの設置、大型クルーズ船が寄港する八代港では検疫、観光団体には靴底消毒を依頼するなど警戒。ひとたび発生すれば移動制限や消毒で誘客どころではない。▼これは5年前の鳥インフルエンザで経験済み。▼ことはラグビーとハンドボールの世界大会、来年は東京五輪と訪日外国人はさらに増加が見込まれる。家畜伝染病に限らず受け入れにはさまざまな問題がつきまとう。歓迎しつつも準備を。か。

清流の里「ひとよし」の百年歳一噌しょうゆ醸造元

緑屋本店は健康で美味しい食品をお届けします。

本社工場/人吉市願成寺町1411
紺屋町本店/人吉市紺屋町44
(TEL 0120-20-5254)

つぶつぶ食感の (あまざけ) **甘酒** (ノンアルコール ストレートタイプ)

米麴ともち米(ともに九州産)だけでつくった
手造り・完全無添加のあまざけ!!

- 上品ですっきりした甘さ。栄養補給としても最適。
- 朝食にヨーグルトや豆乳を足しても美味しい。
- ペット容器にくらべ、最後まできれいに飲めます。

450円+税(400g)

お味噌の委託加工承ります!!

熟練の職人がオリジナルのお味噌を造ります。

- お持ち込みの原料(米など)は、他の原料とは区別して仕込みます。
- 古米、くず米についても、遠慮なくお申し付け下さい。

※まずは弊社までご連絡下さい。
(麴のみの加工も承ります)